令和７年度　中堅教諭等資質向上研修（必修１－１）

教科指導法研修会（小学・社会）に関する課題について

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当講師：大隅清陽（山梨大学）

　今回の研修では、これからの社会科教育において求められる教科指導に関する資質・能力を培うことを目標として、受講者の先生方とともに、日々の社会科の授業を振り返ってゆきたいと思います。そこで、以下の要領で課題に関する資料を作成していただき、授業実践の紹介をお願い致します。

【課題】小学校社会科の授業の実践例を一つ報告してください。

【資料の作成要領】

１．学習指導案等

　最初に、研修までの間に実施する予定の小学社会科のいずれかの単元・題材で、学習指導案（形式は自由）を作成してください。小学社会科であれば、学年や分野、単元は自由です。研修の当日は、その指導案を紙媒体で持参してください。部数は受講者数（センターHPに掲載）＋講師用１部＋センター保存用１部の合計とします。配布資料やワークシート、学習指導案の説明や検討に必要と思われるもの（学習指導要領解説、教科書、副読本など）があれば、適宜それらも持参してください。

２．授業実践記録

　上記の学習指導案による授業を実施したうえで、その授業実践記録（形式は自由）を作成し、同じく研修の当日に、紙媒体で持参してください。部数は学習指導案と同じとします。また追加の資料として、授業実践の様子をビデオ等で撮影した場合は、パソコン、プロジェクター等を用意しますので、データをUSBメモリやDVD・CD-Rなどに記録したものをお持ちください。当日は、これらの資料をもとに、その実践を通して得られた成果と課題について、ご説明をお願いします。

※なお、今年度、社会科の授業を受け持っていない方は、これまでの実践事例をもとに資料を作成してください。